



南丹市に2名の「市民後見人」が誕生しました！

令和4年5月と6月に、南丹市市民後見人養成講座を修了した市民後見人候補者2名が、京都家庭裁判所において口丹地域で初めて「市民後見人」として選任されました。

市民後見人とは？

市民後見人とは、その名のとおり市民による成年後見人です。親族後見人でもなく、弁護士、司法書士、社会福祉士などの専門職による後見人(専門職後見人)でもない、身近な立場で生活を支援する「市民による後見人」のことです。

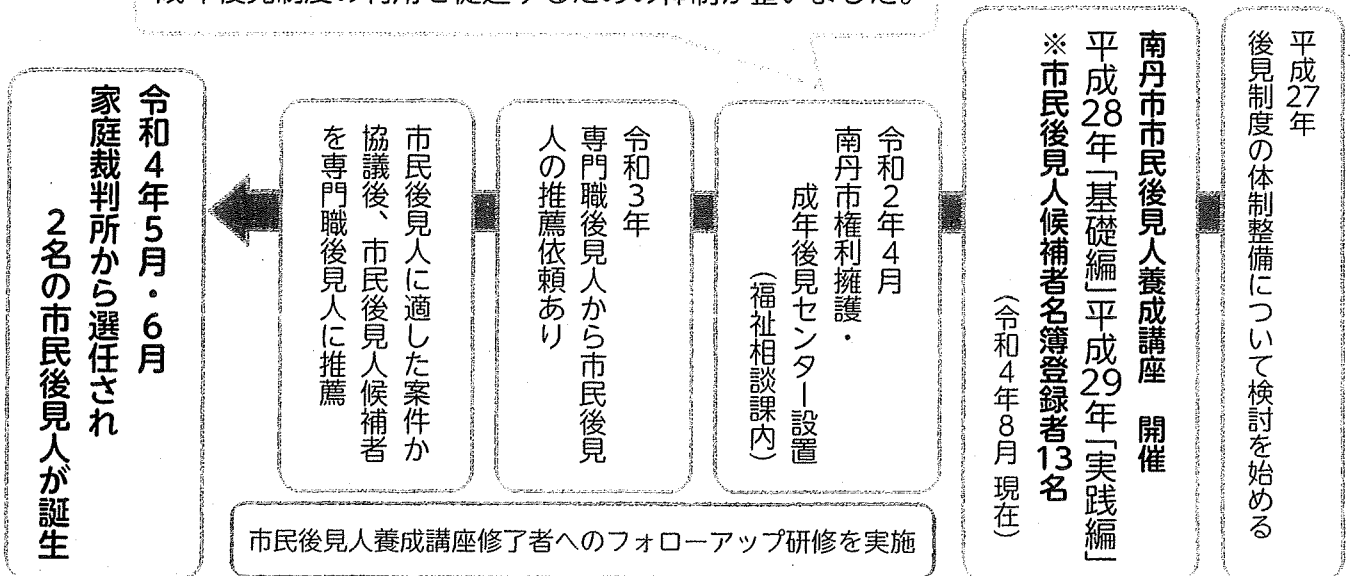
市民後見人は、地域に根ざした後見活動の担い手です

市民後見人は、地域活動に関与してきた住民としての豊富な経験を活かして、地域を基盤とした、きめ細やかな支援を行うことができる、地域の身近な後見活動の担い手として期待されています。

南丹市では、13名の方が市民後見人候補者として名簿登録されています。

南丹市における市民後見人誕生までの歩み

成年後見制度の利用を促進するための体制が整いました。



このたびの選任を受けて、南丹市では、市民が市民を支える・支え合う「つながり」の輪がまた一つ広がりました。地域の身近な後見活動の担い手として、市民後見人が活動を開始したことを市民の皆様にご報告いたします。